

令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

香芝市教育委員会
学校支援室

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため、実施されるものです。

調査結果からは、児童生徒の各教科の領域ごとの学習状況や、学習に対する興味・関心や授業の理解度等が把握できます。結果を踏まえて、各学校では児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めています。

1. 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和6年4月18日(木)
- (2) 調査対象 市内 10小学校 第6学年(受検者数 730名)
市内 4中学校 第3学年(受検者数 743名)
- (3) 調査内容 ①教科調査(小学校:国語科・算数科/中学校:国語科・数学科)
②質問調査(児童生徒、学校)
PC・タブレット等の端末を活用したオンラインによる回答方式で実施
※調査問題や質問調査の詳細については、以下のURLから、国立教育政策研究所のWeb ページをご覧ください。
<https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/index.html>

2. 教科調査結果の概要

※平成29年度から、国から提供される各都道府県別、各市町村別の平均正答率が整数値となったため、奈良県と香芝市の平均正答率は整数値で示しています。

(1) 小学校

教科	香芝市	奈良県	全国
国語科	9.6 /14	9.3 /14	9.5 /14
	69%	67%	67.7%
算数科	10.4 /16	10.1 /16	10.1 /16
	65%	63%	63.4%

(上段:平均正答数/設問数 下段:平均正答率)

(2) 中学校

教科	香芝市	奈良県	全国
国語科	8.7 / 15	8.4 / 15	8.7 / 15
	58%	56%	58.1%
算数科	8.8 / 16	8.3 / 16	8.4 / 16
	55%	52%	52.5%

(上段:平均正答数/設問数 下段:平均正答率)

【国語科における課題】

○小学校

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと、文の中における主語と述語の関係を捉えることに課題が見られた。また、事実と感想、意見との区別が明確でないなど、自分の考えを伝えるための書き表し方の工夫に課題が見られた。

○中学校

自分の考えなどを記述していても、必要な情報を取り出すことや表現の効果を考えること、目的に応じて必要な情報に着目して要約すること等に課題が見られた。

小・中学校を通じた資質・能力の効果的な育成のため、記録、要約、説明、論述、話し合い等言語活動を工夫することが重要。

【算数・数学科における状況】

○小学校

図形や単位量当たりの大きさ(速さなど)について、深い理解を伴う知識の習得やその活用に課題が見られた。

○中学校

複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。

日常生活と絡めながら、活用できる知識・技能を習得させることが重要。また、データの活用については、小学校段階からデータを言葉と数を使って表現する力を身に付けさせることが重要。

3. 質問紙調査結果の概要

(1) 小学校

質問項目(肯定的回答をした割合)	香芝市	奈良県	全国
国語の勉強は好きか	58.4%	60.4%	62.0%
国語の授業の内容はよくわかるか	87.3%	86.4%	86.3%
算数の勉強は好きか	55.6%	58.2%	61.0%
算数の授業の内容はよくわかるか	81.7%	82.4%	82.1%
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思うか	80.3%	82.0%	83.7%
学級の児童との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができるか	85.2%	86.2%	86.3%

(2) 中学校

質問項目(肯定的回答をした割合)	香芝市	奈良県	全国
国語の勉強は好きか	65.3%	59.7%	64.3%
国語の授業の内容はよくわかるか	84.0%	81.5%	82.7%
数学の勉強は好きか	53.4%	54.2%	57.2%
数学の授業の内容はよくわかるか	76.6%	76.3%	75.7%
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思うか	71.7%	73.2%	79.0%
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができるか	79.7%	80.2%	86.1%

- ・小学校、中学校とも、「国語、算数・数学の授業の内容がよく分かる」と肯定的回答をしている。一方で、「国語、算数・数学の勉強は好きか」という問いについては、中学校の国語を除き、肯定的な回答をした児童生徒の割合が、県平均・全国平均よりも低い。
- ・学習内容を実生活に結び付けて考えることについて、肯定的回答している児童生徒の割合が、県平均・全国平均よりも低い。これからの時代に求められる資質及び能力や、生涯にわたって能動的に学び続ける姿勢を育むため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を活性化させることが重要。

各学校では、調査結果から自校の課題を分析し、調査対象の学年だけではなく、学校全体で組織的に授業改善に努め、学力向上に取り組んでいます。

教育委員会では、児童生徒の学力向上に向け、各学校において、授業改善、ICTの効果的な活用、学習習慣の確立等が管理職のリーダーシップのもとで進むよう支援に努めております。